

明治大学校友会豊島区地域支部会報

# 豊島支部 NEWS

2014年 第48号

<http://toshima.meiji-shikon.net/>  
フェイスブックもチェック!!

## 年頭のご挨拶

昭和42年法学部卒 支部長 三浦 昭生  
昭和47年法学部卒 幹事長 板橋 光一

新年あけましておめでとうございます。輝かしい平成27年の新春を迎え、校友の皆様にご挨拶申し上げます。そして、日ごろ豊島区地域支部の皆様から活動に多大なるご協力を頂いております。皆様とともにこの新しい年を迎えられたことは誠に嬉しい限りであります。

昨年は「新年交流会」、「暑気払い」、「総会・懇親会」の三大自然事に加え、1月には明治大学野球部を愛する会の「信年会・祝勝会」、2月にはとしまNPO推進協議会が主催しました「第8回社会貢献活動見本市」において展示優秀団体に賞金を贈呈、10月には「明治・立教六大学野球応援・懇親会」への参加等、他の団体との交流等を含め各地域団体との連携も実施することができました。また、東京都各地域支部総会・懇親会にも積極的に参加し交流を深めました。なお、幹事会を毎月開催し、会の運営等について色々な角度から協議を行いました。

11月8日(土)には平成26年度総会・シンポジウム・懇親会を開催することができました。シンポジウムの基調講演として特別講師に豊島区区长高野之夫氏をお迎えして「豊島区役所新庁舎はこんなに素敵な未来志向の庁舎だ!」と題して、ビデオ映像を交えて熱く語って頂きました。約90名の参加者は、世界的に有名な建築家隈健吾氏・平賀達也氏の設計によ

る豊島区の新しいシンボルマークとなる新庁舎に消滅可能都市ではなく持続可能都市としての豊島区の明るい未来を確信されたものと思います。

12月には想定外の衆議院総選挙が行われましたが予想通り自公連立与党が勝利をし、日本丸も新体制の下新たな船出がなされました。我が地域支部も新しい校友会体制になってから早や十年が経ち、未年の本年は新たな十年への一年目として干支の羊のように一致団結して地域社会の貢献にも具体的な第一歩を踏み出して参りたいと思います。因みに、群れを成す羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味しておりますので、我が支部もそれにあやかっ参りたいと思います。

また、忘れてはならない東日本大震災の復興支援についても何らかの形でご支援ができればと思いますので、貢献活動についてのご意見ご指導を賜りたくよろしく申し上げます。

また、幹事会メンバーに男女を問わず若手に参加頂き豊島区地域支部の特徴である老・壮・青が集う校友会の実現を更に推進して参りたいと思います。

結びに当たり校友の皆様とご家族様の益々のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。



# お店紹介

豊島区内で「商売をしていっしょにやる」校友を紹介するコーナーです。

## 農学部昭和40年卒 遠藤 公康



今回のお店紹介は、  
巣鴨駅北口  
駅前創業  
五十八年と  
なる有名な  
「福福まん  
じゅう」こと  
駿河屋さん  
です。店主の

遠藤公康さんは、明治高校から明治大  
学農学部に入学生、体育会アイスホッ  
ケー部に所属。そこで鍛え抜いた体が、  
その後、まんじゅう作りに大いに生かさ  
れることとなります。

昭和40年、卒業と同時に先代のお父  
様とともに、仕事に没頭。今や老舗と  
なった駿河屋さんの基盤は、このとき  
に築かれていったのでしょうか。やがて  
二代目として店を切り盛りし、行列の  
できるお饅頭屋さんとして、「福福ま  
んじゅう」の名は巣鴨だけでなく、全国  
でも有名なお店となります。現在は、多  
くの商品を手がけておりますが、創業  
当初の主流商品は何といっても北海道

産の小豆を使った「あんまん」です。遠  
藤さんが先代の技に磨きをかけて作り  
上げたこのあんまんこそ、最初のヒット  
商品なのであります。

そんな遠藤さんですが、仕事の過労  
か、少し前に体調を崩され、お店はお休  
みしております。でも、長年労苦を伴に  
された奥様と三代目となる息子さんの  
貴寛さんご夫妻がいるので、お店は大  
丈夫なのです。特に貴寛さんの若いセ  
ンスも活かされて発案された「ハッピー  
チーズケーキ」や「コーヒー大福」など  
は、大好評です。

また、あんまんに続いて、長年の人気  
商品が「肉まん」であり、最近では伝統  
のあんまんに、特製にんにくを仕込んだ  
「福福長寿饅頭」も大きな話題となっ  
ております。これからも、巣鴨の名店と  
して、美味しさを追求していただきた  
いと思います。そして、遠藤さんの一  
日も早いご回復と我々、明大同窓の後  
輩たちとの快気祝いを心よりお待ち申  
し上げます。

文・島村高彦



- ①黄色い看板とメニューが目印
- ②コーヒー大福も人気です
- ③大好評のハッピーチーズケーキ
- ④奥様と息子の貴寛さん
- ⑤定番の福福まんじゅう

駿河屋(するがや)  
☎03-3917-5571  
営業時間：11:00～19:30  
定休日：月曜日(但し、縁日の場合は翌日)  
JR巣鴨駅北口を出てすぐ

# 行事予定

## 『平成27年度新年交流会』

日時：平成27年2月21日(土) 18時～20時  
場所：地球飯店  
住所：豊島区西池袋1-22-8  
電話：03-3985-0684



## 『暑気払い』

日時：平成27年8月1日(土)  
場所：ホテル第二インレ스토랑「レノ」



## 『平成27年度総会・懇親会 及びシンポジウム』

日時：平成26年11月14日(土) 18時～21時  
場所：豊島区勤労福祉会館 6階大会議室  
住所：豊島区西池袋2-37-4  
電話：03-3980-3131



# 明治魂を伝える



商学部産業経営学科卒 52年卒

## 秋元 弘正

昭和48年4月に明治大学商学産経学科に入学しました。大学に入ってから、浪人時代に根つめた反動でかあまり熱心に勉学に励みませんでした。アルバイトに精を出すことが多かったです。主に百貨店の仕事が多かったです、マーケティングに興味があったので流通業を選びました、他にも理由があったのですが、それは内緒というようにしておきます。主にお中元、お歳暮の繁忙期にでしたが、店頭販売、倉庫での荷出しや在庫のチェックなど社員の方と一緒に働きました。物流センターでの仕分け、梱包なども行いました。そういったところで人の付き合い方、仕事のノウハウなどを身につけることができました。

た。そして駿河台校舎へ進み、和泉校舎へ戻ることなく卒業することができました。

幸運なことに在学中に2度も東京六大学野球リーグ優勝に出会うことができました。昭和52年4月大阪に本社のある石鹸洗剤の総合メーカーに就職しました。希望していた業種とは違いますが、この会社に入るようになったのは、当時就職課でも有名な西課長とこの会社の営業部長がお友達だったのです、その関係で紹介していただいたのです。いきなり大阪本社へ勤務することになり、25歳にして初めて親元を離れて大阪へ行きました。仕事は物流課というところに配属になり、製品の配送の手配、在庫管理などを担当しました。当時は東京と大阪の交流は

現在のように密ではなく、東京の人間が大阪に行くなどほとんど考えられない時代でした。とてもカルチャーショックを受けました。「東京人だ、東京弁だ」などと言われ、かなり嫌われました。とにかくこの環境になじもうと、いわゆる関西弁を一生懸命覚えました。一年く



らいたってようやく打ち解けるようになりました。

3年後に東京支社に転勤になりました。仕事は業務課というところで商品の受注や配送の手配、請求業務などを担当しました。8年後に茨城県鹿嶋にある工場に転勤になりました。この工場は出来てから日も浅く物流関係がうまくいってませんでした。その建て直しということでした。

2年後再度大阪に転勤になりました、このときは前回と大分状況も変わっておりすんなり溶け込むことができました。

仕事のほうは今度は生産管理というところでした、本来工場の生産をコントロールするところですが、自分はそのセクションで扱っている受託の窓口として受注や配送や請求といった業務的なことを担当しました。

今回は、大阪生活をエンジョイしようと、奈良、京都、神戸とあちこちに出かけました。関西は歴史が古いこともあり、見るところは山のようであり、これは関東の比ではありません。今でも時間と懐に余裕があればいつでも行きたいと思っています。また仕事と直接関係はないのですが、会社が終わってから学校に通い、宅地建物取引主任者の資格を取りました。

平成16年秋に東京支社に

もとりました。初めは今までのような業務課的な仕事をしましたが、総務関係の仕事に就くようになりました。人事のことをしなければならぬので、今までで最も嫌な仕事でした。そうこうしているうちに本社機能が東京に移り、東京が本社となりました、その間は自分にとって最もきつくりしい時期でした。やっと落ち着いたと思っていましたら、60歳で定年を迎えました。延長雇用もなくなり退職しました。

老後の楽しみとして、55歳ごろからエレキギターをはじめました。高校時代にやりたかったのですが、当時は「エレキは不良」ということで、やらせてもらえませんでした。定年退職して時間ができて少しはゆっくりできると思いましたが、自宅が東京都の推し進める「不燃化特区街づくり」とやらの「補助172号線」の計画にひっかかってしまい、土地と建物を取られてしまうという非常に悲しい状況に立たされていきます。今までつらいことばかりでしたが明大魂でどうにか乗り切ってきたつもりですが、今度ばかりはショックをカバーしきれません。

昨年9月よりマンション監理員の仕事に就き月曜日から金曜日の午前中掃除、ゴミ出し等に精を出しています。おかげで生活にハリとリズムが出てきました。出来るだけ長く続けたいと思っています。

## 平成26年度豊島区地域支部 総会・シンポジウム・懇親会報告

平成26年度豊島区地域支部・シンポジウム・懇親会が11月8日(土)池袋の豊島区勤労福祉会館に於いて開催されました。当日は約九十名の校友・来賓の出席を賜り誠にありがとうございました。

総会では26年度の事業・決算・および監査報告が承認され、引き続き平成27年度事業計画および予算案が承認されました。なお、役員改選時期にあたり、役員改選は原案どおり承認され引き続き三浦昭生氏が支部長に重任となりました。また、長年にわたり豊島区地域支部を支えてきた白砂正人氏が幹事長を退任し新幹事長として板橋光一氏が就任しました。総会に続いて、当地域支部副幹事長柳田好史氏がコーディネーターでシンポジウ



ム「豊島区役所新庁舎はこんなに素敵な未来志向の庁舎だ!」と題して基調講演を豊島区区长高野之夫氏に行つて頂きました。

まず、平成27年5月7日にオープンする新庁舎のコンセプトおよびイメージについてのビデオ映像が上映され、その後高野区長から、区民に開かれた新庁舎をめざしている具体的な内容についてご講演を頂きました。

シンポジウム終了後、懇親会となり、オープニングを「明治大学マンドリンクラブOB会・メモリアルオーケストラ」の華麗なる演奏で開始となりました。

知久晴美常任幹事の司会で、新幹事長の板橋光一氏による開会の挨拶、そして司会よりご来賓の紹介へと進みました。続いて、ご挨拶を豊島区区长高野之夫氏より頂き、我が地域支部に熱いエールを送つ

て頂きました。

そして、我が地域支部顧問の鈴木正美氏の格調高い乾杯の音頭で宴がスタート致しました。

また、本日の会場写真は「劇団ムジカフォンテ」理事でいらっしやいます谷誠氏に特別にお願いして撮影を行つて頂きました。

各校友そして友人の方々の歓談が大盛り上がりの中、オープニングで演奏を行つて頂きました「明治大学マンドリンクラブOB会・メモリアルオーケストラ」総勢13名の演奏で、明治大学の先輩である古賀政男氏の作品を中心に素晴らしい演奏が行われました。偉大なる先輩の曲に酔いしれた後に、現役学生のバトン・チアリーディング部による若さ溢れる元気一杯のパフォーマンスに会場全体が引き込まれ、参加者全員が現役時代に戻つたようになりました。

そして、会場の熱気が冷めやらない中、常任幹事橋爪孝利氏の指揮のもと恒例の「明治大学校歌」の大合唱を全員が肩を組み大きな輪になって行われました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ名残惜しいなかでしたが、閉会の挨拶を副支部長増田治美氏が行い、明治を愛する方々が集い、明治は一つを象徴するかのよう三本締めを顧問の林務氏に賑やかに行って頂きました。お蔭さまで懇親会が無事に終わり、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

## 明治・立教 六大学野球応援&懇親会報告

11月25日(土)

午前11時、明治大学対立教大学第一回戦が行われました。オリックス球団からドラフト一位指名を受けたエース山崎福也投手が先発致しましたが、攻守ともに精彩を欠き3対0で惜敗となりました。この時点で立教大学は15年振りの優勝に王手をかけました。

その後、神宮球場から場所を懇親会会場の池袋東口「アラビアン酒場コゴブランカ」に移し、当番である豊島立教会の進行により行われました。懇親会は、まるで立教大学の優勝祝勝会のような雰囲気我が明治大学は肩身の狭い思いでした。しかしながら、翌日の第二回戦は引分けに持ち込み、そして第三回戦・第四回戦を明治大学が連勝し、その後の早慶戦の結果、我が明治大学が勝率の差で37回目の優勝を果たしました。

なお、次回の当番は、我が豊島地域支部となっておりますので、ご協力のほどよろしく申し上げます。日程が決まり次第改めてお知らせ致します。

